

第2回 日本助産診断実践学会 学術集会



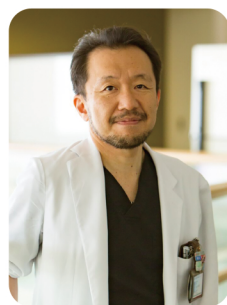
会期 2019年
9月7日(土)

会場 ニプロ iMEP [アイメップ]
滋賀県草津市野路町3023番地

会長 立岡 弓子
滋賀医科大学医学部看護学科
臨床看護学講座 母性看護学
助産学 教授

Main Theme

『実践につながる助産診断の質を高めよう』



特別講演

『産科危機的出血の際に、助産師に求める 助産診断とその実践のエビデンス』

萩田 和秀 先生

〔地方独立行政法人りんくう総合医療センター周産期センター産科医療センター長兼部長〕

香川医科大学卒業。産婦人科を舞台とした漫画「コウノドリ」(講談社)の主人公、鴻鳥サクラのモデルとなった産婦人科医。2016年5月にNHK「プロフェッショナル仕事の流儀」に「命の医療チーム、母子の伴走者」でとりあげられる。日夜周産期医療の最前線で奮闘している側ら、定期的にジャズのライブも行っている。

助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)レベルIII 研修

『周産期の糖代謝状態の基礎知識
と食事療法の実際』

先着
60名

※先着順での申込みとなります。

演題募集のご案内

募集期間 2019年
3月1日(金)～6月24日(月)

申込方法 Eメールにて所定用紙を用いての
お申し込みとなります。詳細内容
につきましてはホームページにて
ご確認ください。

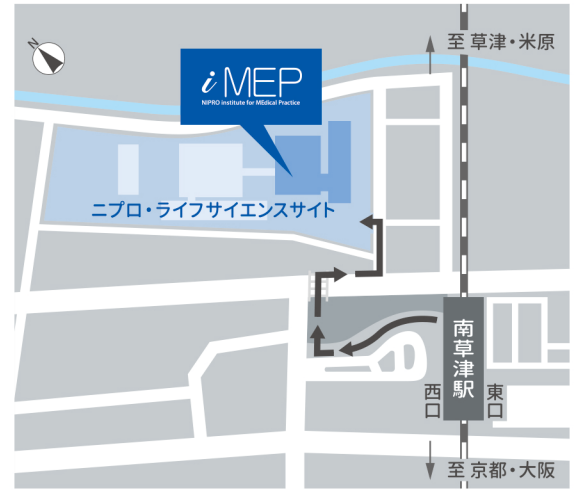
学術集會事務局

事務局長: 中井 抄子
滋賀医科大学医学部看護学科臨床看護学講座母性看護学助産学 内
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
【TEL/FAX】077(548)2433
【E-mail】 jsmdp@belle.shiga-med.ac.jp

<https://jsmdp2019.wixsite.com>

第2回 日本助産診断実践学会 学術集会

『実践につながる助産診断の質を高めよう』



大ホール	
8:30	【開会式】
9:00	【理事長講演】「本学会設立の趣旨について」 講師：齋藤 益子 理事長（東京医療保健大学大学院）
9:30	【会長講演】 「分娩経過における助産診断とその実践」 講師：立岡 弓子（滋賀医科大学医学部看護学科）
10:00	【教育講演】 「出産現場における医療安全と助産診断」 講師：高橋 健太郎（滋賀医科大学総合周産期母子医療センター）
10:30	
11:00	【ワークショップ】 「温故知新の助産実践の歴史」 講師：松岡 知子（京都府立医科大学医学部看護学科） 奥山 葉子（県立広島大学 助産学専攻科） 三浦 みなみ・村頭 佳奈 （滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻修士課程）
11:30	
12:00	【ランチョンセミナー + ニプロPR動画】 「車社会と妊婦の安全 ～助産師に求める保健指導～」 講師：一杉 正仁（滋賀医科大学医学部医学科社会医学講座 法医学部門）
12:30	
13:00	
13:30	
14:00	【一般演題】
14:30	
15:00	【シンポジウム】 「諸外国における助産診断」 講師：岩崎 和代（東都大学ヒューマンケア学部看護学科） 上澤 悦子（京都橘大学看護学部看護学科） 中井 抄子（滋賀医科大学医学部看護学科）
15:30	
16:00	【特別講演】 「産科危機的出血の際に、助産師に求める 助産診断とその実践のエビデンス」 講師：荻田 和秀（地方独立行政法人りんくう総合医療センター 周産期センター産科医療センター長兼部長）
16:30	
17:00	次期学術集会会長挨拶 & 閉会の挨拶
17:30	< 懇親会 > 会場内（ニプロ iMEP）1階食堂にて

会場B・C（カンファレンスルームB・C）	
9時より	【会場C】にて、ポスターを展示しています
	会場B（カンファレンスルームB） 【一般演題】 ポスター発表
	会場C（カンファレンスルームC） 【助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）レベルIII 研修】 「周産期の糖代謝状態の基礎知識と 食事療法の実際」 講師：関根 理（草津総合病院糖尿病センター・ 糖尿病内分泌内科センター長） 栗原 美香（滋賀医科大学附属病院栄養治療部）